

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5 年 1 組		指導者	池 邊 恒 至		教科等	算 数	
単 元	単元名等		分数と小数、整数				
	目標		評価規準		← ※どちらかを選択し、で囲ってください。		
	知識及び技能		知識・技能		○分数を用いた整数の除法の商の表し方を理解し、分数と小数、整数を相互に変換したり、少数と分数が混じった加法、減法の計算をしたりすることができるようにする。		
	思考力、判断力、表現力等		思考・判断・表現		◆分数の意味に着目し、整数の除法の商の表し方を考えたり、それを活用して、分数と小数、整数を相互に変換したり、少数と分数が混じった加法、減法の計算の仕方を考え、説明したりすることができるようにする。		
	学びに向かう力、人間性等		主体的に学習に取り組む態度		○除法の商を分数で表すことができるよさに気づき、学習に生かそうとするようにする。		
	単元の学習展開（全 7 時間）						
	導入	□小数で表せない商の存在に気づき、整数同士の除法の商の表し方に興味を持つ。					
	展開	□数学的活動を通して、整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表せることを理解する。 ・ 整数の除法の商は分数で表せることを理解する。 ・ 分数を用いて何倍かを表すことができる。 ・ 小数や整数は分数で表せることを知り、分数や小数が混じった加法、減法ができる。					
終末	□単元を振り返り、新しく分かったことや、大切な考え方を確かめ、今後の学習に生かせることなどについてまとめる。						

本時 (6／全7時間)	ねらい	分数と小数が混じった加法や減法の計算の仕方について <u>分数の意味に着目し、分数と小数、整数を相互に変換することによって</u> <u>計算の仕方を考えることができるようにする。</u> 【◆思考・判断・表現 ノートの記述】	
	学習過程	<div>「めあて」と『課題』 「分数と小数が混じった計算のしかたを考えよう」 『どうしたら計算ができるだろうか』</div> <div>『まとめ』と「振り返り」 分数や小数が混じったたし算やひき算は、分数か小数にそろえて計算する。 分数を小数で正確に表せないときは、分数にそろえて計算する 分数や小数が混じったたし算やひき算の計算の仕方がわかった。 分数や、小数にそろえると計算できることがわかった。</div>	
		努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】 加法の和や減法の差が、小数では正確には表せない